

ぎかいの杜

CONTENTS

12月定例会の審議……………P2～3
常任委員会審査報告／所管事務調査報告
……………P4～6
一般質問……………P7～11
議会報告会……………P12～13
議会の動き……………P14

NO.85 令和7年2月1日号

12月定例会などの内容をお伝えします。



森吉山の“スノーモンスター”

2025.01.13 09:30撮影

提出された議案を

すべて全会一致で承認・可決



令和6年北秋田市議会12月定例会は、12月5日から12月17日までの13日間の会期で行われました。

今定例会では、承認1件、条例案4件、補正予算案14件、単行議案5件のほか、最終日には、議員発議による《北秋田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について》を含む発議案5件が提出され、いずれも原案のとおり承認及び可決しました。

また、陳情6件については、いずれも採択し、意見書を提出することとしました。

▼令和6年度一般会計補正予算

今定例会に上程された令和6年度一般会計予算は、8億2181万円を追加し、総額は278億5224万2千円となりました。
補正予算の主な事業とその予算額は下記のとおりです。

主な補正予算	予算額
全国高等学校駅伝競走大会出場補助金	1,000千円
きたあきた出産まるっと応援事業（妊産婦支援事業）	7,660千円
道路等維持事業（工事発注時期平準化）	50,000千円
教師用教科書・指導書購入事業	10,463千円
旧阿仁中学校校舎解体工事	167,216千円
阿仁体育館解体工事	67,023千円
学校給食賄材料費（追加分）	1,271千円

12月定例会の主な議事

- 専決処分承認を求めることについて（令和6年度一般会計補正予算（第7号））
- 刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
- 北秋田市市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 令和6年度一般会計補正予算（第8号・第9号）
- 令和6年度各特別会計補正予算
- 令和6年度各事業会計補正予算
- 市道路線の認定について（北中家下4号線ほか1路線）
- 秋田県市町村総合事務組合規約の一部変更等について
- 北秋田市妖精の森の指定管理者の指定について

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥 ※議長は採決に加わりません。

議案名 会派・議員名	陳情第34号 健康保険証廃止 の中止について国に意見書 提出を求める陳情	
	採決結果	採択
清明会	小笠原 寿	●
	永井 昌孝	●
	佐々木正史	●
	松橋 久敏	●
	堀部 寿	—
	中嶋 洋子	●
	長崎 克彦	●
新創会	佐藤 文信	○
	虻川 敬	○
	杉渕 一弘	○
日本共産党 議員団	佐藤 重光	○
	板垣 淳	○
	三浦 倫美	○
公明党 無会派	久留嶋範子	○
	福田 牧子	▼
	福岡 由巳	○
	五代儀義富	○

来年3月に運転免許証がマイナンバーカードにひもづけられるが、今の免許証を使いたい人はそのまま使える。この陳情は保険証もそうしてくださいという内容。世論調査でこの声は70%超。この声に応えよう。

賛成討論 板垣 淳 議員

医療を効率的、正確に管理し運営する上で、医療のデジタル化は必要である。マイナ保険証の登録のない方などには資格確認書が交付され、現在の保険証と同様に診療が受けられ、問題は無い。

反対討論 松橋 久敏 議員

陳情第34号

賛成・反対討論

賛成討論

福岡 由巳 議員

陳情趣旨に記載されているようにマイナンバーカード法制化後も個人情報に関わる問題などが次々と明らかとなった。同時に世論調査でも7割以上が政府方針に反対などから現行保険証を残すべき。

反対討論

佐々木 正史 議員

マイナンバーカードが制度化されて10年が経過し、既に国民の75%以上に発行され、うち80%が健康保険証をひもづけしている。資格確認書が発行されることから反対。

12月定例会最終日の様子は
こちらのQRコードから
ご覧いただけます。



皆さまからの 請願・陳情と意見書提出

件名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善について国に意見書提出を求める陳情		採択	提出
政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充しすべてのケア労働者の賃上げや人員増のため国に意見書提出を求める陳情	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 奥井 明子	採択	提出
健康保険証廃止の中止について国に意見書提出を求める陳情		採択	提出
「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める」国への意見書提出を求める陳情書		採択	提出
「小・中学校給食費の無償化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情	秋田県社会保障推進協議会 会長 佐藤 幸美	採択	提出
「18歳までの医療費窓口負担の無料化」を国の制度として実施を求める意見書提出の陳情		採択	提出

総務文教常任委員会 旧阿仁中学校解体スケジュールは

【委員長】小笠原 寿 【副委員長】五代儀義富 【委員】杉渕一弘／堀部 壽／板垣 淳／長崎克彦

当委員会に付託された案件は、承認1件、条例案3件、予算案2件、単行議案1件、陳情1件の計8件でした。

令和6年度一般会計補正予算の教育委員会の審査の中で、委員から「繰越明許について、旧阿仁中学校の解体があるが、具体的なスケジュールは。」との質疑があり、当局からは「年度内に発注をかけ、来年の3月から工期が始まり、12月頃までを目途としている。」との答弁がありました。

また、委員から「学校給食費の賄い材料費について、今回の食材高騰分は、保護者負担を求めず市がカバーするとのことだが、食材の値上がりについて保護者負担を求めたり、市がカバーしたり方針が一定していないと感じる。また、無償化についてはどう考えているか。」との質疑があり、当局からは「今回は年度途中の値上がりで保護者に負担を求めず、市で負担したいとなった。学校給食の無償化

については先進事例の自治体の例を調査し検討していきたい。」との答弁がありました。

さらに教育助成費のICT関連で委員から「保守委託料の増額について、当初の計画と増額理由の詳細及びタブレット端末の主な故障原因は。」との質疑があり、当局からは「当初の保守委託予定日数は、年間249日を予定していたが、9月末までの本来予定日数68日に対し実働が130日、つまり62日増加している状況から増加となった。故障の原因はバッテリー、外部カメラの不具合、液晶画面の劣化トラブルなどのほか、使用時に机の上から誤って落下させてしまうなど、様々な要因で故障が発生している。」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決。陳情は採択すべきものとし、意見書を提出することと決しました。

(委員長 小笠原 寿)

所管事務調査報告

市長アバターが

政策を語る

北秋田市の行政DXについて、その将来像を求めて神奈川県横須賀市と三浦市に行つて参りました。横須賀市は、国内で最初にChatGPTを導入した自治体として知られております。行政の「生成AI」活用は書類作成時のツールの域を出ていないのが一般的ですが、横須賀市での実験的取組では、窓口での手続きで書類の記入箇所を減らすことや、徴収事務に現金を必要としないなどの事務処理の簡素化に留まらず、様々な場面における市民へのアナウンスが正確な外国語で行えるなど、外国人居住者の多い横須賀市ならではの取組も見られました。外部からAI戦略アドバイザーを招いて業務改善や市民サービスの向上を目指す市は、将来的に市の広報活動の一部を担ってもらおうと考えておりました。具体的には、生成AIで市長アバターを作り、外国籍の方々に対して防炎情報や市独自の政策の発信をさせることや、AIロボッ

トに市民からの問い合わせに応答させる、また、在宅老人からの相談に一役買ってもらおうという計画もあるとの説明に、行政DXの将来をのぞいた気がしました。一方、三浦市では、まだ横須賀市ほどには進んでおらず、今のところは、徴収事務に係る端末の活用に取り組んでいる段階で、市の各出先機関での扱いが可能となって市民から好評を受けているとのことでした。この取組はさほど多額の初期投資を要しないことから、当市での取組もこの辺りからではなからうかと感じながらも北秋田市のDX推進に役立ちたい思いを強くして帰って来ました。

(文責者：副委員長 五代儀義富)



自治体DXを学ぶ (横須賀市)

市民福祉常任委員会

きたあきた出産まるっと応援事業

[委員長] 永井昌孝 [副委員長] 福田牧子 [委員] 久留嶋範子 / 中嶋洋子 / 佐藤重光 / 佐藤文信

当委員会に付託された案件は、条例案1件、予算案10件、単行議案2件、陳情5件の計18件でした。

令和6年度一般会計補正予算の消防本部関係の予算について、委員から「職員の時間外手当の増額について」の質疑があり、当局からは「火災や救助、遭難対応で出勤する場合、消防署に待機する職員が必要となることから欠員の補充が必要となる。消防吏員が不足しているため、欠員補充の機会が増加している。」との答弁がありました。

また、医療健康課関係では、委員から「分娩の取り扱いについて、市外の病院というところであったが、対象の病院は秋田市なども対象になるのか。」との質疑があり、当局からは「県北医療圏で分娩を行っている、能代市の能代厚生医療センターと大館市の大館市立病院がベースとなるが、ハイリスク妊娠で、秋田市の日本赤十字病院や秋田大学病

院、弘前市の弘前大学病院などに行かれることも想定し、その場合はタクシーであつても全て適用させるように考えている。」との答弁がありました。

また、福祉課関係の物価高騰対策支援事業について、委員から「基準日は12月13日との説明であつたが、基準日以降に対象になる場合はどのような対応となるのか。」との質疑があり、当局からは「3月31日の年度末までに子どもが生まれた場合は、基準日以降でも対象となるが、それ以外は基準日でもって対象となる。」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、陳情第32号、33号、34号、35号は賛成多数で採択し意見書を提出、陳情第37号は全会一致で採択し意見書を提出することし、そのほかの議案については全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

(委員長 永井昌孝)

所管事務調査報告

幕別町・芽室病院を

視察研修

当市で令和7年度から実施される「産後ケア事業」に効果的に取り組んでいる北海道幕別町を訪問しました。また、今後展開されることが予測される「オンライン診療(遠隔医療)」を実施している公立芽室病院を視察しました。

産後ケア事業は、出産後、育児の不安や育児疲れを少しでも和らげるため、助産師による家庭訪問や産後ケアセンターでのデイサービスを利用することで、産後うつや虐待の予防支援、安心して育児を続けることができるよう子育て支援を行います。利用者は年々増加していました。産後うつで内服治療している母親を助産師と保健師が一緒に訪問し、子どもの世話を手伝ったり、アドバイスを一緒に聞き、電話や家庭訪問の継続支援、保育所や一時保育を紹介しながら見守ってきた結果、うつ症状が落ちつき、父の協力が増え、他の母との交流をしたいなど前向きな気持ちになり、安定して子育てがで

きるようになったとの効果的事例を聞くことができました。

公立芽室病院は、産婦人科は廃止、外科が休止されています。地域医療構想を踏まえた経営強化プランの中で在宅医療を強化、医療DXを先進的に推進しています。訪問診療における医師の移動時間の短縮が働き方改革、経営強化につながるとしてオンライン診療が開始されました。病院への通院が困難な方などを看護師が訪問し、最大二十倍ズームができる高精細度カメラを医師が遠隔で操作、情報通信機器(ビデオ通話)による診療が実施されています。

北秋田市において、意義のある視察研修でした。

(文責者: 副委員長 福田 牧子)



公立芽室病院を視察 (芽室町)

産業建設常任委員会 産業建設常任委員会での審査報告

〔委員長〕虻川 敬 〔副委員長〕松橋久敏 〔委員〕三浦倫美／佐々木正史／福岡由巳

当委員会に付託された案件は、予算案6件、単行議案2件の計8件でした。

主な審査内容として、一般会計補正予算の審査では、新規狩猟免許取得者確保対策事業補助金の新規に資格を取得する人数に関する質疑について、当局からは、「第1種が7名、わな猟が8名の方が免許を取得するが、両方の資格を取得する方が3名いるため、実人数は12名である。資格取得後は猟友会に加入していただければよう勧誘に努める。」との説明がありました。

また、観光施設費及び森吉山スキー場開発対策費の補償費について、「担当温泉もゴンドラも、これまでも改修費等でかなりの額が支出されている。今後の改修等の見直しは。」との質疑に対し、「担当温泉については、時々修繕をしながら運用してきているが、抜本的な更新は今後考えていきたい。スキー場は、今年度、調査中であり、その内容を踏まえ、

優先順位をつけて修繕計画を作っていくたい。」との答弁がありました。

水道事業会計補正予算での料金システム改修業務委託について、「このシステム改修はどうしても必要か。」との質疑に対し、「現在使用しているハインディターミナル38台が耐用年数の7年を迎え、そのうち14台が故障により不具合が発生しており、修理もできない状況である。冬季料金期間は不足があつても対応できるが、来年4月からは対応できないため更新したいと考えている。ハンドイターミナルを新しく更新した場合、現在のシステムとの併用ができず、両方の更新を同時に行わなければいけないことから、今回提案をさせていただいたものである。」との答弁がありました。

以上のような審査を踏まえ、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（委員長 虻川 敬）

所管事務調査報告

芽室町・南富良野町を

視察研修

産業建設常任委員会は、11月7日に北海道の芽室町、南富良野町で所管事務調査を実施しました。

《日高山脈襟裳十勝国立公園》

日高山脈襟裳十勝国立公園は、北海道の中央南部に位置し、国内35ヶ所目の国立公園として令和6年6月25日に指定されている。公園エリアは13市町村にまたがるが、十勝側の芽室町で指定に至るまでの取組を聞きました。平成28年の環境省による調査を契機に機運が高まり、平成30年に十勝側6市町村長が要望書を提出。当時は、十勝側が帯広市を中心に盛り上がりを見せる一方で、日高側の動きはなく、温度差があつたと言う。令和元年には十勝・日高の13市町村長が国立公園への指定要望書を提出している。民間レベルでは、十勝・日高の商工会議所が中心になり、観光ルート化を進めて機運の盛り上げに取り組んできたとのことである。

《道の駅「南ふらの」》

南富良野町では、モンベル店舗が

併設している道の駅「南ふらの」再編整備事業について聞きました。令和元年度国土交通省の重点「道の駅」の選定を受け事業に着手。令和4年度にモンベル南富良野店とレストラン、フードコートが開業、道の駅を核とした複合商業施設になっている。道の駅を通過型から目的地型へと変化させ、年間40万人の誘客を目指す。モンベル店舗併設による「道の駅」への効果については、来訪客数、売上額とも増加。道内遠方から訪れるお客も増えていると言う。モンベル店舗の建設費は町が負担し、テナント料として毎月約26万円を徴収しているとのことであった。

（文責者…副委員長 松橋久敏）



モンベル店舗内の視察の様子（南富良野町）

一般質問は、12月9日・10日の2日間で行われ、8人の議員が登場しました。

松橋 久敏 議員 (P 7)

- ◆観光振興について
- ◆雪対策について

福岡 由巳 議員 (P 8)

- ◆森吉山の国立・国定公園化について
- ◆合川集落の大雨災害対策について
- ◆小阿仁川上流の早期築堤、防災対策について
- ◆旧大野台ハイランド憩の森の後始末について

五代儀 義富 議員 (P 8)

- ◆中学校運動部の部活動地域移行の推進について

長崎 克彦 議員 (P 9)

- ◆不登校について
- ◆大館能代空港利用促進助成金交付申請について
- ◆市長選挙について

板垣 淳 議員 (P 9)

- ◆森吉コミュニティセンターの建て替えについて
- ◆市民病院の今後の見通しについて
- ◆道の駅たかのす整備計画について
- ◆マイナンバーカードとマイナ保険証について

福田 牧子 議員 (P10)

- ◆健康福祉について
- ◆認知症の人に寄り添った地域社会について
- ◆地域交通の再構築について

佐々木 正史 議員 (P10)

- ◆北秋田市農林漁業体験実習館について
- ◆受益者負担の更なる支援について

三浦 倫美 議員 (P11)

- ◆オーガニック給食と有機農業産地づくりについて

※QRコードから一般質問の映像がご覧いただけます

A 国や県の支援制度は極めて少ないことから、市長会を通じて要望書を提出したほか、県選出国会議員と市長会との懇談会の場において財政支援を強く要望した。

Q 施設整備に対する国・県の支援制度は。

A 中間報告では10億円以上の経費が掛かるとしている。

Q 更新・修繕に要する費用は。

A 最終報告で示される更新計画を基に、建物及び索道設備の具体的な修繕や更新方針を定め対応する。

Q 更新・修繕に要する費用は。

A 中間報告では10億円以上の経費が掛かるとしている。

Q 更新・修繕に要する費用は。

A 最終報告で示される更新計画を基に、建物及び索道設備の具体的な修繕や更新方針を定め対応する。

阿仁スキー場 施設の更新は



松橋 久敏 議員

(清明会)



森吉山阿仁スキー場

A 降雪量の増加に伴い、扶助額を引き上げた年もあったので、降雪量の状況に応じて検討したい。

Q 「福祉の雪事業」扶助基準の限度額を引き上げる考えは。

A 降雪量の増加に伴い、扶助額を引き上げた年もあったので、降雪量の状況に応じて検討したい。

福岡 由巳 議員

(無会派)



合川2、7丁目の側溝等の早期整備を

Q 森吉山の国立・国定公園化に向けた市の取組は、9月議会では環境省の資質調査待ちとのことだったが、その後進展があったか。

A 本県関係自治体の先頭に立って国立・国定公園化の早期実現に取り組んできている。

Q 進展はなかったのではないかと。環境省は本年度中に拡張地域や公園区分について一定の方向性を示したいとのことであるが、市には具体的な情報提供はあるか。あれば、それに対し今後どのように取り組もうとしているのか。

A 環境省は現在も文献調査を行っており、その結果を踏まえ指定方針案を示して関係自治体の意見聴取が行われるものと認識している。

Q 2年続いて同じ場所が土砂崩落

した合川7丁目、市道高校線は復旧工事が終了したようであるが、これまで同様の大雨の場合、直接踏切方面へ大量に流れるものとの危険されるが、今後の課題はないか。

A 災害を防止するため、被災原因となった路面上の雨水を安全に側溝へ誘導するためアスカーブを設置した。課題はないものと考えられる。

Q 側溝は内陸線沿いが不備である。緊急に整備すべきでないか。

A 現地を再度確認しながら対策を講じたい。

Q 市道高校線の土砂崩落などの大雨被害は下流である合川2丁目まで及んでいる。7丁目と2丁目の同時対策が必要ではないか。

A もう一度、地域全体を見直して計画していきたいと思う。



側溝等を詳細に調査

五代儀 義富 議員

(無会派)



地域クラブ移行は補助の充実が先決

Q 中学校の運動部活動は、急速な少子化に伴う学校統合や教員数の減少を受け、スポーツ庁指導の下、学校から地域へと移行を進めている。現実に、地域クラブに所属する生徒選手が全国大会に出場する例も出てきている中で、これに対する市のスポーツ振興係の補助が学校部活動に対する教育委員会からの補助に比べて大きく遜色がある。今後、さらに地域クラブへの移行を計画する中にあるのは、地域クラブに対する補助を、従来の教委による学校部活動に対する補助の水準に引き上げてから推進を図るべきではないか。

A 課題として認識している。今年4月に作成した「移行推進計画」による取組に支障をきたすこと

無きよう見直しをする。

Q 来年度からの見直しと受け止めて良いか。

A そのように取り組む。

Q 今後、地域移行が進む中で、地域クラブの構成が市町村の枠を超えることも想定される。現状を把握しているか。更なる将来を見据えた検討が必要ではないか。

A 単独の学校ではチームを編成できず、市外を含めた他の学校との合同チームで大会に出場している競技もある。また、学校クラブではなく地域クラブに所属して大会を目指す生徒もいると承知している。今年度は、国のモデル事業を活用しながら、休日の合同部活動の実施や外部指導者の確保に取り組んでいる。



地域クラブへの補助引き上げを

※アスカーブ

アスファルトカーブの略で、雨水などを排水するために路肩に設けるアスファルト製の緑石様の道路工作物。

長崎 克彦 議員

(清明会)



不登校の現状と対策

Q 全国での不登校は2023年度初めて30万人を超え、過去5年間で倍増している。文部科学省や自治体は教室以外の「居場所」をつくるなどし、学習が続けられるよう支援するとともに、不登校の未然防止や登校再開につなげようとしている。

A 県内でも前年度から381人増となり過去最多を更新している。そこで、当市内の児童生徒の実態について伺う。また、それに対する指導、対策についても伺う。

A 不登校の児童生徒数は千人当たり全国が37・2人、秋田県が33・8人に対し、本市は29・1人と低い水準となっているが、小中学生合わせて44人いる。令和4年度は21・6人で増加傾向にある。



あきたリフレッシュ学園校舎

取り組んでいる対策は、①さわやか教室の開設。②体験型不登校児童生徒支援施設のあきたリフレッシュ学園。③関係機関との連携で、スクールカウンセラーや市子ども課等との連携。④各校で定期的に家庭訪問等の取組をしている。

Q 空港利用助成金交付申請手続きを簡素化すべきと思うが。

A 搭乗したことを証明する書類の提出を求めているが、搭乗証明書発行が難しい方のために航空券の予約番号または確認番号を記載していただくことで申請を受け付けることができるよう、随時見直しを図っている。

Q 市長選挙について、津谷市長は5選を目指す考えであるのか伺う。

A 熟慮の結果、5選目に出馬する決意を固めたところである。

板垣 淳 議員

(日本共産党議員団)



道の駅たかのす 整備は再検討を

Q 森吉コミュニティセンター建て替えの検討結果は。

A 検討中。

Q 市民病院の分べんなど診療科の減少に市民から苦言が出ている。一方、市から負担金は約10億円と過去最高。市民税収も同額なので市民が払った税金がまるまる市民病院に行つてることになる。これでいいのか。

A 医師確保や収支改善に取り組んでいる。

Q 道の駅たかのす整備の事業費はいくらか。

A まだ示せない。

Q いくらかかるかわからないのにハイどうぞとは言えない。7号線は交通量激減、人気の高い「道の駅ふたつ」はすぐ近く、人口は

減少、市財政は厳しく、ハコモノで活性化をとという時代ではなく、有利な借金と言ってきた合併特例債は終了、建設費は高騰。大事業でなく、必要な修繕にとどめるべきでは。

A モンベルが出店することに「すごいじゃない」と全国からも電話があった。これを売りとして市民にもプラスになるように取り組みたい。

Q マイナ保険証について経団連は「ビッグデータは非常に価値がある」、つまり個人情報民間企業の儲けに使われるから、それが嫌で国家公務員の利用率が低いのではないか。

A 国の職員のことは述べられないが、不安という人は一定数いる。



モンベルが出店予定の道の駅たかのす

福田 牧子 議員

(公明党)



健康福祉・認知症

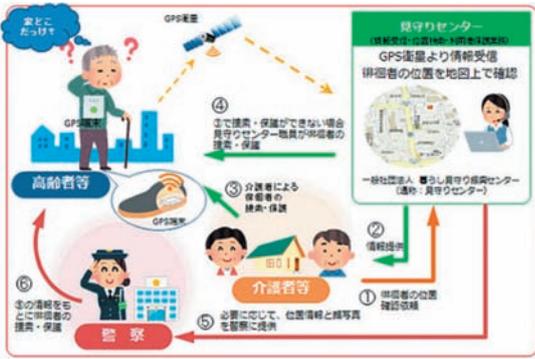
・公共交通再構築

Q ①高齢者の肺炎予防のRSVワクチン接種の半額程度の公費助成の検討は。②带状疱疹ワクチンが定期接種化、65歳以上が対象との情報。現在の公費助成50歳以上の継続は。③65歳以上の国の公費助成は3割、市の更なる公費助成の継続は。

A ①国や他市町村の動向を注視し、検討する。②50歳以上の助成を維持する。③定期接種への位置づけが具体化した際に検討する。

Q 認知症の方も家族も安全に暮らせる地域社会として、行方不明者を早期に発見し命を守る、GPSの貸出しを実施している自治体がある。当市の導入の検討は。

A 他自治体の先進事例を参考にしながら、前向きに検討する。



はいかい 高齢者救援システム

【出典：群馬県高崎市ホームページ】

URL <https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/notice/1736.html>

Q 公共交通の確保が危機的な状況にあるとして、国交省は問題解消に向けて予算措置を実施。①市内の交通空白の現状は。②最寄りのバス停や鉄道まで自力で移動できない高齢者の把握と将来の推移の予測は。③公共ライドシェアの導入について既存のNPO法人の活用の検討は。

A ①国交省の示す交通空白地は本市にはない。②交通弱者の把握は令和4年度の市民アンケート調査で把握。ドア・ツー・ドアサービスを望む傾向。③移動の足を確保する上で、自家用有償旅客運送も既存の交通モード再編の中で協議し検討する。

佐々木 正史 議員

(清明会)



北秋田市阿仁体験

実習館について

Q 森吉山の国立・国定公園指定が現実味を帯びてきたことによる誘客数の増加が見込まれているが、旧阿仁町側の入り口に位置する阿仁体験実習館が休館状態になっていることについて、今後の利用再開の考えは。

A 懸案の施設は平成3年にオープンし、スキー客や登山客など多くの方にご利用いただいていたが、利用客の減少や周辺の民間宿泊施設への影響があり、平成22年から休館としている。建築後33年が経過し、建物や設備の老朽化が著しいことや、耐用年数を経過していることなどから、改修費用を掛けるとの再開は難しいものがあり、今後は建物を解体し、新たな土地利用の可能性を研究する。

Q 一般の豪雨災害により、局地的に農林業関係施設に甚大な被害が出ているが、3年続いた災害が今後は無いと言い切れない状況にあり、同じ場所でも同等の被害が出る可能性も拭い切れない。その度に数%と言え、毎年、分担金を拠出することになる可能性が有り、今後の農業生産の減少や営農意欲を失わせることに繋がるが、受益者負担について条例改定の考えは。

A 災害復旧事業は受益者負担を基本としている。災害復旧事業費分担金については農業用施設2%の分担金率を2分の1としている。災害緊急支援事業にて農業生産の維持と営農意欲減退防止に取り組み、条例の改定によらず、現行条例の規定により判断する。



休止中の体験実習館

三浦 倫美 議員

(日本共産党議員団)



オーガニック給食と有機農業注視を

Q 大館市ではオーガニック給食の実現を目指し、先進地の千葉県いすみ市などにも学びながら有機農業推進費を予算化し、農家の方々とも協力し合い、有機米栽培の実証実験を行っている。この取組を注視してはどうか。

当市では、営農継続への支援について、「多様な農業を支え、もろかる農業の実現を目指すため、農業者や農業団体、県や県内市町村と意見交換しながら対応していく」との姿勢を示しており、その意味でも、大館市の取組に目を向けるべきと思うが、市長の考えはどうか。

A オーガニックな農産物を学校給食に活用することは、人と地球に優しい学校給食として移住定住の

きっかけの一つとなり、有機農業者にとって学校給食マーケットが農産物の出口戦略となり得る可能性もあり、興味深いアイデアの一つと考える。

一方で、給食を提供する立場からは、食材費の高騰や調理の下処理に時間を要することなどが心配され、生産者の立場からは、除草作業や害虫の駆除、栽培管理にかかる手間のほか、通常の栽培に比べると収量が上がらないといった懸念があることから、作物を安定供給するためには人手の確保や栽培技術の確立が重要であると考えている。

多様な農業を支える取組として、大館市が行った実証実験の結果や先進地の取組を注視しながら、関係機関と情報共有していく。



多様な農業を支える取組を

本会議の生中継や録画映像がスマートフォンやパソコンなどでご覧になれます

スマートフォン・タブレット

QRコード読み取りアプリを起動して下のQRコードを読み取る



生中継・録画映像配信先QRコード

画面が切り替わりましたら、再生ボタンを押してください。

パソコン

〔北秋田市ホームページ〕



操作① メニューをクリック



操作② 北秋田市議会をクリック

操作③ 市議会中継をクリック

〔議会中継のページへ〕



操作④ 再生をクリック
(本会議の生中継や録画映像がご覧になれます)



合川地区（合川公民館）



鷹巣地区（北秋田市交流センター）

令和6年度 議会報告会 を開催

11月17日(日曜日)、市内4会場で「災害対策について」をテーマに議会報告会を開催し、36名の皆様にご参加いただきました。

報告会では、議会の活動や予算等の審議に関して報告したほか、テーマである「災害対策について」だけではなく、「北秋田市民病院」や「道の駅たかのす」に関する事など、多くの項目について貴重なご意見やご要望等を頂戴することができました。皆様からのお声は各議員で共有させていただきますとともに、市当局へも伝えさせていただきます。

なお、紙面の都合上、ご意見等のすべてを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。ほかのご意見等やアンケートの集計結果はホームページをご覧ください。

【各会場の参加者数 及び 出席議員】

▷鷹巣地区（北秋田市交流センター）…12名

久留嶋範子／佐々木正史／佐藤文信／小笠原寿

▷森吉地区（四季美館）…6名

長崎克彦／福田牧子／三浦倫美／虻川 敬

▷合川地区（合川公民館）…13名

佐藤重光／松橋久敏／福岡由巳／五代儀義富

▷阿仁地区（阿仁公民館）…5名

永井昌孝／杉渕一弘／中嶋洋子／板垣 淳

総務文教常任委員会所管分

ご意見・ご提言	会 場
社会環境の変化で町内会での防災意識の低下が見られます。特にリーダーのなり手が不足しています。	鷹巣地区
自主防災組織の良い例を他の自治会に知らせることも大切では。	鷹巣地区
伊勢町では自主防災組織はあるが、どう運営するのか協議を重ねている。障害者や病気になっている方については別々に対応することが大切である。	鷹巣地区
内陸線が走っている下の道路の安全確保を。(暖気の時、氷が落ちてきて車のガラス破損)	阿仁地区
部活動の地域移行について、指導者確保と会社との関係では補助金の対応を考えては。	鷹巣地区
合川小学校の見守り隊協議会の席上、スクールバスは旧南小、東小、北小が対象で、西小は歩きとの説明があった。冬場は送迎で西小の親御さんの負担が大きいと聞いた。同じ地域でも利用の可否があるとのことであるが、スクールバスの運営を柔軟にできないか。	合川地区

災害対策を中心に、委員会所管に関わる多くの意見・要望を各地区からいただきました。貴重な意見・要望については内容を整理し、市長提言だけに留まることなく、必要とあれば委員会で議員間討議・調査等を行い、対応を図っていけるよう努めてまいります。



阿仁地区（阿仁公民館 ※阿仁ふるさと文化センター）



森吉地区（四季美館）

市民福祉常任委員会所管分

ご意見・ご提言	会 場
市民病院での産科病床が廃止されたことについて、若い世代でも残れる政策が必要ではないか。	鷹巣地区
統合分署の取付道路が進んでいない。下の県道に直接繋がる道路があれば迅速な救急体制がとれる。県にも要望するべきである。消防団員が足りなくなっている。訓練もままならないし、特に救出訓練がネックになっている。大会に出るにも他の地域からの応援で何とか参加できている。今、河川の堤防は高くなってきており決壊した場合、大きな災害になる。消防団員の訓練は、こうした災害を想定したものにしていくべきである。	合川地区

市民病院の運営に関する意見や分娩の取扱い中止に関し不安の意見が多く寄せられ、医師不足の現状をどう解決すべきか、医療サービス向上と医師の労働条件のバランスを保ち病院運営を進める事の課題が見えました。他に消防関係では西統合分署での出動道路の整備に関しての意見では迅速で安全な出動が見込まれる事から今後調査を進めたいと思います。

産業建設常任委員会所管分

ご意見・ご提言	会 場
モンベルを道の駅たかのすに誘致することに疑問を感じている。モンベルが来ることは大歓迎する。この辺は全国有数のアウトドアの聖地になり得る可能性があると思う。いま仮に道の駅たかのすにモンベルを作ろうとした場合、交通量が激減していることが問題である。北欧の杜近辺では空港利用者、それに関係する送迎、市民病院に出入りする人などを合わせると道の駅たかのすの利用者30万人より多いと思う。北欧の杜に建ったとイメージした場合、テニス、ランニング、クロスカントリースキー、スノーシュー、スノーモービルなどあらゆるアウトドアスポーツができる。正にぴったりマッチングする。出店先としてこんなに良い条件のところはないと思う。それなのになぜ道の駅たかのすなのか。	合川地区
「桂瀬の滝」を市の観光としてアピールしているが、そこまでの道路が整備されていない。アクセスの方法が、明示されていない（安の滝）。駐車場の案内も含めて不十分。地元の人でも観光場所として認識できていない。森吉山の観光についても整備が不十分ではないか。	森吉地区

この度の議会報告会での意見交換において、当委員会に係るご意見では、道の駅たかのすのリニューアル事業とモンベル誘致との関係性に対しての意見が多数見受けられました。また、森吉地域の観光についての情報提供環境の改善要望や、森吉山荘の運営など観光に係るご意見もありました。皆様よりいただいた意見を今後、委員会内でも当局を交え協議してまいります。

議会の動き

<10月16日～1月15日>

- 10月
- 16日・全国民間空港所在都市議会協議会第106回臨時総会
 - 17日・広報広聴特別委員会
 - 22日・北秋田市森林・林業・林産業活性化議員連盟研修会
・秋田県市議会議員研修会
 - 23日・令和6年度秋田県北部地域秋期合同要望活動
 - 24日・秋田県県民栄誉章顕彰式
 - 28日・秋田県後期高齢者医療広域連合議会10月定例会
 - 29日・議会運営委員会
・秋田県北部市議会連絡協議会総会・研修会
 - 31日・秋田県文化功労者表彰式
・秋田県地方自治功労者表彰式

- 11月
- 1日・令和6年度秋田県北部地域秋期合同要望活動
 - 5日・総務文教常任委員会所管事務調査（～7日）
 - 6日・産業建設常任委員会所管事務調査（～8日）
 - 12日・市民福祉常任委員会所管事務調査（～14日）
 - 17日・議会報告会
 - 19日・秋田県市議会議長会臨時会
・秋田県知事との行政懇談会
 - 20日・令和6年度秋田県北部地域秋期合同要望活動
 - 25日・議会運営委員会
 - 27日・議会運営委員会
・県道矢坂糠沢線整備促進期成同盟会要望活動
 - 29日・秋田県北部市議会連絡協議会正副議長・事務局長情報交換会

- 12月
- 5日・12月定例会（初日）
・広報広聴特別委員会
 - 9日・本会議 一般質問①
・議会運営委員会
 - 10日・本会議 一般質問②
 - 11日・総務文教常任委員会
・市民福祉常任委員会
・産業建設常任委員会
 - 15日・一般国道105号大覚野峠防災起工式
 - 17日・議会運営委員会
・12月定例会（最終日）
・第3回全員協議会
 - 19日・令和6年度秋田県北部地域秋期合同要望活動

- 1月
- 10日・議会運営委員会

秋田県地方自治功労者表彰

地方自治の進展に多大な貢献 福岡由巳議員が受章



令和6年秋田県地方自治功労者表彰式が、令和6年10月31日に秋田県庁正庁で行われました。

この表彰は、県議会議員、市町村長、市町村議会議員、副市町村長等として、永年にわたり地方自治の進展に寄与された方の功績をたたえ、知事が表彰をしているもので、当市議会からは福岡由巳議員が表彰されました。

議会を傍聴してみませんか？

市議会では、皆さんの生活に直結した重要な問題を審議しています。開かれた議会を目指し、どなたでも本会議の傍聴が可能となっていますので、市議会の活動状況をぜひご覧ください。ようお待ちしています。

次の定例会は2月の予定です

各常任委員会の会場

- ▷総務文教（本庁舎）
- ▷市民福祉（本庁舎）
- ▷産業建設（本庁舎）



市議会へのご意見を募集しています

- 対象 市内在住又は通勤通学をしている方
- 方法 手紙、FAX、メールなど（文字で読める形式のもの）
- 公表 ホームページや広報紙で公表する場合があります。
- あて先 〒018-3392
北秋田市花園町19番1号 北秋田市議会事務局
- メール gikai@city.kitaakita.akita.jp
- FAX (0186) 62-4845



北秋田市議会

検索



<https://www.city.kitaakita.akita.jp/genre/shigikai>

広報広聴特別委員会

- | | | | |
|------|-------|-------|-------|
| 委員 長 | 五代儀義富 | 副委員 長 | 松橋久敏 |
| 委員 | 福岡由巳 | 委員 | 久留嶋範子 |
| 委員 | 中嶋洋子 | 委員 | 長崎克彦 |